

報道関係 各位

2016年5月18日
株式会社日本レースプロモーション

5月28日(土)～29日(日)
2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ第2戦 岡山国際サーキット
開催概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 倉下明、所在地:東京都千代田区)は、5月28日(土)～29日(日)の2日間、岡山県美作市 岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)で開催される2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第2戦岡山国際サーキットについて開催概要を発表します。

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズは、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

当シリーズ第2戦は、岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を68周、トータル251.804kmにて争われます。

開幕戦は、山本尚貴(チーム 無限)がポール・トゥ・ウインを飾り、世界から注目を集めるGP2 2015年シリーズ王者ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)がデビュー戦ながら3位を獲得する快挙を成し遂げ、また、今シーズンよりオフィシャルタイヤサプライヤーとなったヨコハマタイヤでの初レースなど、語るべき話題の多い1戦でした。次戦、2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第2戦岡山国際サーキットでは、この二人の更なる活躍に注目が集まるとともに、残念ながら開幕戦下位に沈んでしまった2015年全日本スーパーフォーミュラ選手権チャンピオンの石浦宏明(プロムュー/セルモ・インギング)や、実力者の中嶋一貴(バンテリチン チーム トムス)、小林可夢偉(スノコ チーム ルマン)、海外勢ドライバーなどが上位獲得に燃える熾烈な戦いが予想されます。



開幕戦をポール・トゥ・ウインで飾った チーム 無限 #16 山本 尚貴

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NINKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズは、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※1)で争われ、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定します。(国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名))

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ ポイントシステム

| 順位 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位以下 | P.P. |
|---------|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|------|------|
| 1大会1レース | 10 | 8 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 1大会2レース | 5 | 4 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 | 0.5 | 0 | 1 |

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、【HONDA HR-414E】または【TOYOTA R14A】(気筒配列:直列4気筒、排気量:2,000cc、燃料吸気方式:ダイレクトインジェクション)、このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより内燃機関として高効率をめざしたエンジンを搭載しています。タイヤはすべてヨコハマタイヤ製のワンメイク供給です。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードを叩き出し、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられます。

5. オーバーテイクシステム

各エンジンに装備されている燃料リストラクターを活用し、燃料供給量を増加させ一時的に約60ps(約10%)パワーを上げることでより(※1)、オーバーテイクをより促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色のランプ(リーダーズレッド)を装着しています。このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

(※1)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム:オーバーテイクシステム作動時に燃料流量を10kg/h増させる
- ・効果:オーバーテイクシステム作動時に約60ps(約10%)の出力増
- ・ルール:オーバーテイクシステムは1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

燃料流量制限について

- ・鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
- ・その他大会…燃料流量90kg/h

6. 公式予選

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を、決められた時間内に、各チームが1周タイムのベストをめざし、ノックアウト方式でタイムアタックを行います。

ノックアウト方式とは、予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。19台エントリーの場合では、まずQ1(20分間)で15位～19位のスタート位置を決定し、10分間のインターバル後、Q2(7分間)を行い9位～14位のスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1位～8位の決勝レーススタート位置を決定します。

7. 決勝レース

岡山国際サーキットレーシングコースを68周、トータル251.804kmを走行します。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ 開催スケジュール

| 日程 | ラウンド/サーキット | 予選方式 | 決勝レース方式 |
|--------------|-----------------|--------|---------|
| 4 / 23 ~ 24 | 第1戦/鈴鹿サーキット | ノックアウト | 250 km |
| 5 / 28 ~ 29 | 第2戦/岡山国際サーキット | ノックアウト | 250 km |
| 7 / 16 ~ 17 | 第3戦/富士スピードウェイ | ノックアウト | 250 km |
| 8 / 20 ~ 21 | 第4戦/ツインリンクもてぎ | ノックアウト | 250 km |
| 9 / 10 ~ 11 | 第5戦/オートポリス | ノックアウト | 250 km |
| 9 / 24 ~ 25 | 第6戦/スポーツランドSUGO | ノックアウト | 250 km |
| 10 / 29 ~ 30 | 第7戦/鈴鹿サーキット | ノックアウト | 2レース制 |

8. 岡山国際サーキットレーシングコースについて

2本の長いストレートと大小13のコーナーからなる、1周3.703kmのテクニカルコースです。配分よくレイアウトされたコースは、数々のバトルを生んできました。コースサイドからスタンドの距離が近く、レースの迫力をより身近に感じることができるサーキットです。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ第2戦 岡山国際サーキット エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

| Car No. | ドライバー名 | 生年月日 | 出身地 | チーム名 (読み) | 監督 | エンジン |
|---------|--|------------|---------|--|-------|---------------|
| 1 | 石浦 宏明 Hiroaki Ishiura | 1981/4/23 | 日本/東京都 | P.MU/CERUMO・INGING (プロミュールセルモ イングング) | 立川 祐路 | TOYOTA RI4A |
| 2 | 国本 雄資 Yuji Kunimoto | 1990/9/12 | 日本/神奈川県 | | | |
| 3 | ジェームス・ロスター James Rossiter | 1983/8/25 | イギリス | KONDO RACING (コンドー レーシング) | 近藤 真彦 | TOYOTA RI4A |
| 4 | ウィリアム・ブラー William Buller | 1992/9/17 | イギリス | | | |
| 7 | ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan | 1977/1/14 | インド | SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン) | 山田 健二 | TOYOTA RI4A |
| 8 | 小林 可夢偉 Kamui Kobayashi | 1986/9/13 | 日本/兵庫県 | | | |
| 10 | 塚越 広大 Koudai Tsukakoshi | 1986/11/20 | 日本/栃木県 | REAL RACING (リアル レーシング) | 金石 勝智 | HONDA HR-414E |
| 11 | 伊沢 拓也 Takuya Izawa | 1984/6/1 | 日本/東京都 | | | |
| 16 | 山本 尚貴 Naoki Yamamoto | 1988/7/11 | 日本/栃木県 | TEAM 無限 (チーム ムゲン) | 手塚 長孝 | HONDA HR-414E |
| 18 | 中山 雄一 Yuichi Nakayama | 1991/7/25 | 日本/東京都 | KCMG (ケーシーエムジー) | 土居 隆二 | TOYOTA RI4A |
| 19 | ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira | 1981/7/13 | ブラジル | ITOCHE ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル) | 星野 一義 | TOYOTA RI4A |
| 20 | 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi | 1987/12/29 | 日本/東京都 | | | |
| 34 | 小暮 卓史 Takashi Kogure | 1980/8/1 | 日本/群馬県 | DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) | 道上 龍 | HONDA HR-414E |
| 36 | アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer | 1981/11/19 | ドイツ | VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス) | 舘 信秀 | TOYOTA RI4A |
| 37 | 中嶋 一貴 Kazuki Nakajima | 1985/1/11 | 日本/愛知県 | | | |
| 40 | 野尻 智紀 Tomoki Nojiri | 1989/9/15 | 日本/茨城県 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング) | 村岡 潔 | HONDA HR-414E |
| 41 | ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne | 1992/3/26 | ベルギー | | | |
| 64 | 中嶋 大祐 Daisuke Nakajima | 1989/1/29 | 日本/愛知県 | NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング) | 中嶋 悟 | HONDA HR-414E |
| 65 | ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette | 1986/2/23 | ベルギー | | | |

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ シリーズポイントランキング

シリーズポイントランキング

ドライバーポイントランキング

| 順位 | No. | ドライバー | ポイント | 4/24 | 5/29 | 7/17 | 8/21 | 9/11 | 9/25 | 10/30 | |
|----|-----|--|------|------------|------------|------------|-------------|----------------|------------|--------|--------|
| | | | | 鈴鹿 Rd.1 | 岡山 Rd.2 | 富士 Rd.3 | もてぎ Rd.4 | オートボリス Rd.5 | 菅生 Rd.6 | Rd.7-1 | Rd.7-2 |
| 1 | 16 | 山本 尚貴 Naoki Yamamoto | 11 | 11 | | | | | | | |
| 2 | 2 | 国本 雄資 Yuji Kunimoto | 8 | 8 | | | | | | | |
| 3 | 41 | ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne | 6 | 6 | | | | | | | |
| 4 | 34 | 小暮 卓史 Takashi Kogure | 5 | 5 | | | | | | | |
| 5 | 10 | 塚越 広大 Koudai Tsukakoshi | 4 | 4 | | | | | | | |
| 6 | 3 | ジェームス・ロシター James Rossiter | 3 | 3 | | | | | | | |
| 7 | 36 | アンドレ・ロットラー Andre Lotterer | 2 | 2 | | | | | | | |
| 8 | 65 | ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette | 1 | 1 | | | | | | | |
| | 40 | 野尻 智紀 Tomoki Nojiri | - | - | | | | | | | |
| | 19 | ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira | - | - | | | | | | | |
| | 1 | 石浦 宏明 Hiroaki Ishiura | - | - | | | | | | | |
| | 37 | 中嶋 一貴 Kazuki Nakajima | - | - | | | | | | | |
| | 18 | 中山 雄一 Yuichi Nakayama | - | - | | | | | | | |
| | 20 | 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi | - | - | | | | | | | |
| | 4 | ウィリアム・ブラー William Buller | - | - | | | | | | | |
| | 8 | 小林 可梦偉 Kamui Kobayashi | - | - | | | | | | | |
| | 11 | 伊沢 拓也 Takuya Izawa | - | - | | | | | | | |
| | 64 | 中嶋 大祐 Daisuke Nakajima | - | - | | | | | | | |
| | 7 | ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan | - | - | | | | | | | |

* 表中ポイント数字の **太字**: 優勝 下線: 予選ポールポジション

チームポイントランキング

| 順位 | チーム | ポイント | 4/24 | 5/29 | 7/17 | 8/21 | 9/11 | 9/25 | 10/30 | |
|----|--|------|------------|------------|------------|-------------|----------------|------------|--------|--------|
| | | | 鈴鹿 Rd.1 | 岡山 Rd.2 | 富士 Rd.3 | もてぎ Rd.4 | オートボリス Rd.5 | 菅生 Rd.6 | Rd.7-1 | Rd.7-2 |
| 1 | TEAM 無限 (チーム ムゲン) | 10 | 10 | | | | | | | |
| 2 | P.M.U./CERUMO・INGING (プロムュー/セルモ インギング) | 8 | 8 | | | | | | | |
| 3 | DDCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング) | 6 | 6 | | | | | | | |
| 4 | DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) | 5 | 5 | | | | | | | |
| 5 | REAL RACING (リアル レーシング) | 4 | 4 | | | | | | | |
| 6 | KONDO RACING (コンドー レーシング) | 3 | 3 | | | | | | | |
| 7 | VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス) | 2 | 2 | | | | | | | |
| 8 | NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) | 1 | 1 | | | | | | | |
| | ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル) | - | - | | | | | | | |
| | KCMG (ケーシーエムジー) | - | - | | | | | | | |
| | SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン) | - | - | | | | | | | |

* 表中ポイント数字の **太字**: 優勝

* チームポイント: 各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

ASAHI NINKI-ICHI
人気酒造

— 開催概要 —

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ第2戦 岡山国際サーキット
- 開催日程 : 2016年5月28日(土) 公式予選
2016年5月29日(日) 決勝レース
- オーガナイザー : 株式会社岡山国際サーキット
アイダクラブ(AC)
- 公 認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認 定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後 援 : 岡山県/美作市/岡山県観光連盟/美作国観光連盟/岡山県経済団体連絡協議会/
岡山県商工会議所連合会/岡山県経営者協会/一般社団法人岡山経済同友会/
岡山県中小企業団体中央会/岡山県商工会連合会/山陽新聞社
- 同日開催 : 2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第5戦&第6戦
2016 N-ONE OWNER'S CUP Rd.5
GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2016 関西シリーズ第2戦
ロードスター・パーティレースIII 西日本シリーズ第1戦

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

**J SPORTS**

SONY
Action Cam

**NINKI-ICHI**
人気酒造

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。

放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/、 <http://www.superformula.net/>

● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

| | |
|-------------------------|---------------------|
| 第2戦 岡山国際サーキット5/28～29 | 6/3 (金) 24:00～24:55 |
| 第3戦 富士スピードウェイ7/16～17 | 7/22(金) 24:00～24:55 |
| 第4戦 ツインリンクもてぎ8/20～21 | 8/26(金) 23:30～24:25 |
| 第5戦 オートポリス9/10～11 | 9/16(金) 24:00～24:55 |
| 第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25 | 9/30(金) 23:30～24:25 |
| 第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30 | 11/4(金) 24:00～24:55 |
| 総集編 | 放送日未定 |

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。

ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。

過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。

司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第2回のゲストは、石浦宏明、脇阪寿一。放送日は6/3(金)22:00～22:30。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベートを徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第2回のゲストは、中嶋一貴。放送日は、5/15(日)26:35～27:05)。

5/23(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラの映像が流れます。

